

プレスリリース

[ご参考]

BNYメロンのホーイ、「世界経済は水準を下げつつも安定化」

米国は財政赤字対策として短期債を発行

欧州金融危機は大きく秩序を失うことなく解消へ

[2011年9月30日、ロンドン、ニューヨーク] BNYメロンのチーフエコノミスト、リチャード B・ホーイは、エコノミック・アップデートの中で、先進諸国経済に対する緊張が増加するに伴い、世界経済は水準を下げながらも安定化を目指し、その後は全面的なリセッション局面に突入するのではなく、むしろ成長率が鈍化する方向で収束するとの見方を明らかにしました。

その中でホーイは、「今後の世界経済見通しで鍵となるのは欧州の金融危機がどの程度の秩序を保ちながら解消するのかにかかっている。現時点では秩序を大きく失うことなく解消へと向かい、全面的なグローバルリセッションに陥るよりは鈍化した成長率に見合う水準で落ち着くのではないかと予想している。」と述べています。

また、世界経済は金融危機後の世界同時不況から基本的に回復しつつあるが、民間セクターのバランスシート健全化や先進国における財政再建が途上にあるため不安定な状況にあると主張しています。

ホーイはさらに、「米国は財政赤字対策のために長期債を発行するよりも短期債の発行により対応すると見ている。財務省が新発債を発行し、その後連銀が流通市場で米国長期債を買い入れるのは、連邦政府が発行する債券を自ら引き受けるのと同じだと見ることができる。つまり、連銀の得た利益が財務省に還流するということだ。将来的に財政赤字は長期国債の民間部門による引受額の増大(連銀引受分を除く)によって手当されることになるだろう。今や、連銀は長期国債利回りに対する責任を負う立場にある。せつかく60年ほど前、長期国債市場をサポートする役割から解放されたにもかかわらず。」とコメントしています。

全文(英語)につきましては、<http://www.bnymellon.com/foresight/pdf/update.pdf>をご参照下さい。

ご参考

BNYメロン・アセット・マネジメントはバンク・オブ・ニューヨーク・メロン・コーポレーションの子会社である資産運用会社および国際的販売会社をその傘下に抱えています。BNYメロン・アセット・マネジメントについての詳細は、www.bnymellonam.comをご参照下さい。

BNYメロンはお客様の金融資産を運用・管理するためのサービスを提供することに注力した世界的金融機関でもあり、36カ国に拠点を有し100以上の地域で活動しております。また、機関投資家、事業会社、個人富裕層への金融サービスを提供する有数の金融機関であり、優れた資産運用と証券関連サービスを、顧客サービスに特化した世界各地での担当チームを通じて提供しております。26.3兆ドルの管理・預り資産及び1.3兆ドルの運用資産を有し、11.8兆ドルの債券を管理し、1日平均1.7兆ドルの資金決済を担っております。BNYメロンはザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン・コーポレーション(NYSEシンボル: BK)のコーポレート・ブランドです。詳細につきましてはwww.bnymellon.com およびTwitter@bnymellonをご参照ください。

本件に関するお問合せ先：
アシュトン・コンサルティング・リミテッド
中馬 美佳
電話： 03 (5425)-7220

Louisa Bartoszek
+44 20 7163 2826
louisa.bartoszek@bnymellon.com